

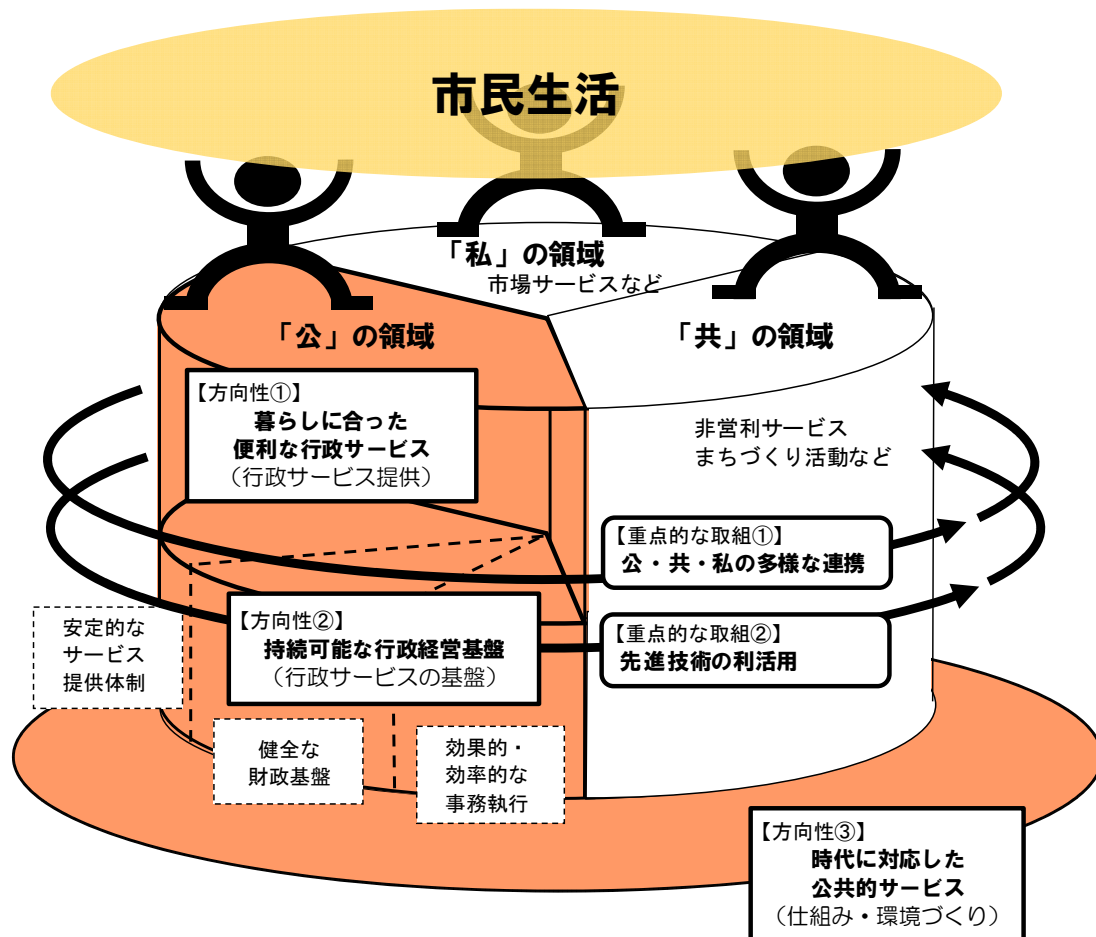
「(仮称) 行政経営に係る基本方針」の「目指すべき方向性」等について

1 目指すべき方向性等

次のとおり、3つの「方向性」と2つの「重点的な取組」を位置付ける。

⇒ これらの方向性を通じて実現させる行政経営の姿を「基本目標」に位置付ける。

<方向性等のイメージ>



<ポイント>

- 上の図は、行政サービス（公）だけでなく、地域のまちづくり活動（共）や民間の市場サービス（私）が相互に補完し合いながら、総合的に市民生活を支えている様子をイメージしています。
- 前回の会議でお示した3つの「重視する価値」を踏まえ、「目指すべき方向性」を①行政サービス提供、②行政サービスの基盤、③仕組み・環境づくりの3つに再整理しました。
- 基本目標やキャッチフレーズについては、今回までの会議における御意見や次回取りまとめを行う懇談会意見書等を踏まえて、検討・整理します。

⇒ 新たなイメージなどがあれば、御意見をお願いします。

2 目指すべき方向性 ※「主な取組例」は別紙2参照

基本目標の実現に向けた今後の行政経営・行政改革について、3つの方向性を定める。

(1) 暮らしに合った便利な行政サービス【方向性①】

市民の生活環境や価値観が細分化し、市民生活における課題も多様化している中、暮らしに必要なサービスを安定的に提供できるよう、社会環境や市民ニーズの変化を的確に捉えながら、生活環境やライフステージ・ライフコースに応じたサービスの構築など、既存の行政サービスの継続的な見直しに取り組む。

また、暮らしに合った便利な行政サービスを効率的に提供できるよう、電子申請やプッシュ型サービスの導入をはじめ、対面・紙・現金による既存の事務処理方法の抜本的な見直しに取り組む。

<主な取組例>

- | | |
|--------------------------|----------------|
| ①既存事業の見直し | ②補助金等の整理・合理化 |
| ③窓口サービスの向上◆ | ④電子申請手続きの構築・推進 |
| ⑤レスペーパー化の推進 | |
| ⑥個人番号カード（マイナンバーカード）の利活用◆ | |

「◆」を付した取組は、別紙2に事例を掲載しています。

<ポイント>

市が提供する行政サービスについて、持続可能なサービス提供に向けた「継続的なサービスの見直し」に加え、市民の暮らしに合ったより便利なサービスの実現に向けた「事務処理方法の抜本的な見直し」などの方向性を盛り込みました。

⇒ この分野に当てはまる「仕事の進め方」や「具体的な取組」などについて、皆様の専門分野や日常感じていることなどから御意見をお願いします。

(2) 持続可能な行政経営基盤【方向性②】

ア 安定的なサービス提供体制

人口減少等により、公民を問わず人材確保の困難化が懸念される中、官民の役割を適切に捉えた上で、日々発展する民間活力や先進技術を効果的に組み合わせながら、市民に身近な行政サービスを安定的に提供できる体制の整備に取り組む。

また、社会環境の変化等に伴い、アウトリーチによる直接的なサービス提供や新たな課題に対応するための企画・コーディネート的重要性が高まっていることなどを踏まえながら、職員の配置の重点化を図るなど、行政課題に対応した柔軟で機動的な執行体制の確立に取り組む。

さらに、公民連携やICT利活用に係る企画・調整や業務推進など、今後の行政サービスに不可欠な能力を有する担い手の確保・育成に取り組む。

<主な取組例>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ⑦職員の人材育成 | ⑧地域行政機関の機能確保◆ |
| ⑨課題に対応した柔軟な組織整備 | ⑩組織力向上プロジェクトの推進 |
| ⑪アウトソーシングの推進 | ⑫適正な定員管理◆ |
| ⑬ICT利活用の推進 | |

イ 健全な財政基盤

社会保障関係経費や公共施設の維持・更新費用に加え、社会環境の変化に伴う、新たな行政課題や財政需要を見据え、引き続き必要な経営資源を確保し、効果的・効率的に配分できる財政基盤の確立に向け、これまでのやり方や考え方に捉われない新たな視点を取り入れ、外部資源や新たな技術をより効果的に活用しながら、収納対策をはじめとする自主財源の確保や資源配分の優先化・重点化、公共施設マネジメント等に取り組む。

<主な取組例>

- | | |
|--------------------|--------------|
| ⑭市税等の収納対策の推進◆ | ⑮補助金等の整理・合理化 |
| ⑯使用料、手数料の適正化 | ⑰EBPMの推進◆ |
| ⑱有料広告事業の推進 | ⑲公共建築物の長寿命化 |
| ⑳公共施設の適正配置、複合・多機能化 | ㉑公共施設の適正管理 |
| ㉒公有財産の有効活用◆ | ㉓総人件費の適正化 |

ウ 効果的・効率的な事務執行

高度化・多様化する行政課題に的確に対応していくことができる経営基盤を確立するため、生産性向上を実現する業務プロセスや事務処理の仕組みの継続的な見直しを行いながら、効果的・効率的で信頼性の高い事務執行の確立に取り組む。

また、民間活力や技術のより広範な活用に加え、将来の自治体間連携の広がりも見据えた事務処理の標準化・共通化等に取り組む。

<主な取組例>

- ②④部局間を超えた課題への適切な対応
- ②⑤社会保障・税番号制度（マイナンバー）の活用
- ②⑥事務処理の共通化・標準化の推進 ②⑦B P Rの推進◆
- ②⑧事務処理規程の再点検 ②⑨多様な働き方の検討（モバイルワーク等）◆
- ②⑩内部統制の推進 ②⑪ICTを活用した業務効率化（A I, R P A等）
- ②⑫職員提案の推進◆ ②⑬民間提案の推進（オープンイノベーション等）

<ポイント>

行政サービスの基盤について、職員などの提供体制や予算などの財政基盤、効率的な事務執行のA～Uに分類し、それぞれ「市民に身近な行政サービスを安定的に提供できる体制の整備」、「生産性向上を実現する業務プロセスや事務処理の仕組みの継続的な見直し」などの方向性を盛り込みました。

⇒ この分野に当てはまる「仕事の進め方」や「具体的な取組」などについて、皆様の専門分野や日常感じていることなどから御意見をお願いします。

(3) 時代に対応した公共的サービス【方向性③】

人口減少や「人生100年時代」などの社会環境の変化やそれを踏まえた本市のまちづくり進展などに対応し、市民が住み慣れた地域で安心かつ快適に暮らし続けることができるよう、市民や事業者，まちづくり活動団体など，多様な担い手の連携や先進技術を効果的に組み合わせながら，時代に対応した公共的サービスを提供できる仕組みや環境づくりに取り組む。

また，その基礎となる相互の信頼関係の向上に向け，地域やまちづくり活動団体などの多様な主体への効果的な支援，行政情報の積極的な提供や適切な事務執行等に取り組む。

<主な取組例>

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ③④まちづくり活動団体の育成・支援 | ③⑤地域主体のまちづくりの推進 |
| ③⑥地域包括ケアシステムの構築・推進 | ③⑦民間の人材・施設の活用 |
| ③⑧民間提案制度の推進◆ | ③⑨規制緩和の推進 |
| ④⑩オープンデータの活用促進◆ | |

<ポイント>

市民生活を支える公共的サービスについて、市民や事業者、まちづくり活動団体など、多様な担い手の連携や先進技術を効果的に組み合わせた「時代に対応したサービスを提供できる仕組みや環境づくり」などの方向性を盛り込みました。

⇒ この分野に当てはまる「仕事の進め方」や「具体的な取組」などについて、皆様の専門分野や日常感じていることなどから御意見をお願いします。

3 重点的な取組

上記の3つの方向性の実現に向けて、特に分野横断的に取り組むべき2つの重点的な取組を定める。

(1) 公・共・私が多様な連携【重点的な取組①】

市民生活において顕在化・多様化する課題やニーズに対応するため、行政（公）や市民活動団体等（共）、民間企業等（私）の活動環境の整備や民間のアイデアを取り入れる仕組みづくりなど、多様な主体がそれぞれの強みを発揮することのできる環境づくりに取り組む。

<主な取組例（再掲）>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ⑪アウトソーシングの推進 | ⑬ICT利活用の推進 |
| ⑳公共施設の適正配置，複合・多機能化 | ㉒公有財産の有効活用 |
| ㉔BPRの推進 | ㉞地域包括ケアシステムの構築・推進 |
| ㉟規制緩和の推進 | |

(2) 先進技術の利活用【重点的な取組②】

情報通信技術の飛躍的な発展や急速な浸透を踏まえ、AIやRPAをはじめとするICTの活用、プッシュ型サービスの導入や手続きの簡素化等による政策効果や利便性向上、行政の効率性向上や職場環境の維持・向上を図るため、既存の業務プロセスやサービス利用環境の見直し、職員の意識改革や人材育成も含め、先進技術の積極的な利活用やその環境づくりに取り組む。

<主な取組例（再掲）>

- | | |
|------------------------|-------------|
| ③窓口サービスの向上 | ④電子申請手続きの構築 |
| ⑤レスペーパー化の推進 | ⑬ICT利活用の推進 |
| ⑪EBPMの推進 | ⑲公共施設の適正管理 |
| ⑳社会保障・税番号制度（マイナンバー）の活用 | |
| ㉞事務処理の共通化・標準化の推進 | |

<ポイント>

上記の3つの方向性の実現に向けて、すべての分野で横断的に取り組むべき重点的な取組として「公・共・私が多様な連携」と「先進技術の利活用」を位置付けました。「主な取組例」は、前ページまでの取組を再掲しています。